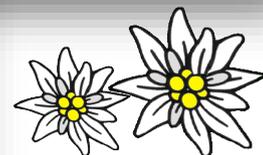
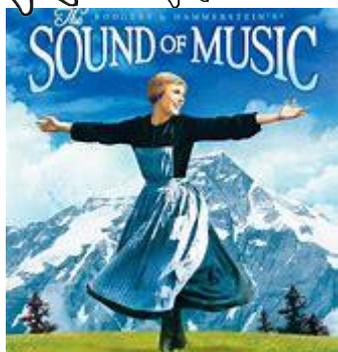
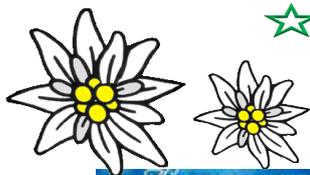




☆英語劇の練習、真ただ中です☆



来月の学習発表会で、中学部が英語劇 *The Sound of Music* を発表します。全員がセリフの言い回し、動きの確認、さらには歌の練習と大忙しですが、放課後には発音や合唱の自主練習をしている生徒たちもいて、日に日に子供たちの意識が高まっているのが感じられます。

海外では多くの学校で、演劇の授業があります。「なぜ日本の学校には演劇の授業がないの？」と聞かれることがあります。逆になぜ、演劇の授業がこれほど海外で重要視されるのか不思議でした。しかし実際に子供たちの様子を見てみると、演劇の大切さが少しずつ分かってきた気がします。

子供たちは、もちろん精いっぱい演技するのですが、最初の方は「見ている側に伝わってこない。」と言われ、試行錯誤します。自分と違う環境・歴史的背景で育った人間の気持ちを観客に分かってもらえるように表現するのは、たやすいことではないでしょう。登場人物になりきるということは、他人の気持ちを理解しようとする努力にも似ているかもしれません。

また、劇の練習を行った1か月の間で、授業中に発表する声が大きくなったり、自主性が出てきたり、目の輝きが増したりと、変化を見せる子供たちも出てきました。演劇の授業とは、単に表現する力だけでなく、他人の気持ちを思いやる心の育成、さらに自分自身の成長にもつながるのかもしれません。そんな子供たちの様子に大きな喜びを感じます。

さあ、学習発表会まで、あと1か月。素晴らしい発表を目指して中学部一丸となって頑張ります！どうか温かく見守ってあげてください。